

森りょうじ リポート。(64号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

■ 白洲次郎語録。

戦後に活躍した偉人の白洲次郎氏は晩年（昭和60年没）、次のことを言いました。

「私は、“戦後”というものは一寸やそっとで消失するものだとは思わない。我々が現在、声高らかに唱えている新憲法もデモクラシーも、我々の本当の自分のものになっているとは思わない。それが本当に心の底から自分のものになった時において、はじめて“戦後”は終わったと自己満足してもよかろう」

日本国憲法の改正論議、地方分権型社会への移行に伴う「流山市自治基本条例」の制定など、国民自らも当事者となり考え、行動する時代となってきました。白洲氏の言葉を借りるとしたら「我々が現在声高らかに唱えている政治参加も地方自治も、本当に心の底から自分のものになった時において、はじめて“民主主義の国”として誇ってもよかろう」と言えるのかも知れません。焦らず、でも着実に進めたいものです。

■ 流山初！全議員が中間報告を実施中。

5月より市議会ホームページ上に議員28名が議会活動の中間報告を掲載しています。内容は任期の折り返しにあたり前半2年の実績と後半2年の目標設定。これは議員個人による評価ですので、最終的には有権者の皆さんが思う評価とどのように合致するのかという点も重要になってきます。ぜひご覧下さい！

○1976年6月12日流山生まれ（37歳）

※サラリーマン家庭（父はNTTに勤務）で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社

○2003年4月 流山市議会議員に初当選（2,692票）

○2007年4月 千葉県議会選挙に挑戦（次点）

○2007年6月 シンクタンク東京財団政策研究員（2年間）

※世界や日本の地方政治・地方自治を研究

○2011年4月 流山市議会議員当選（二期目）

※市政史上の最高得票4,508票をいただきトップ当選

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

趣味：政治（人と語る・駅頭）・読書・コミュニケーション

体型：身長159.5cm・体重54.7kg

後援会事務所：流山市中野久木559-2

討議資料

森りょうじ

森が動く。



流山市議会議員

先月、市内農園で収穫作業を体験、その野菜をバーベキューで食することもできました。とても美味しかったです。

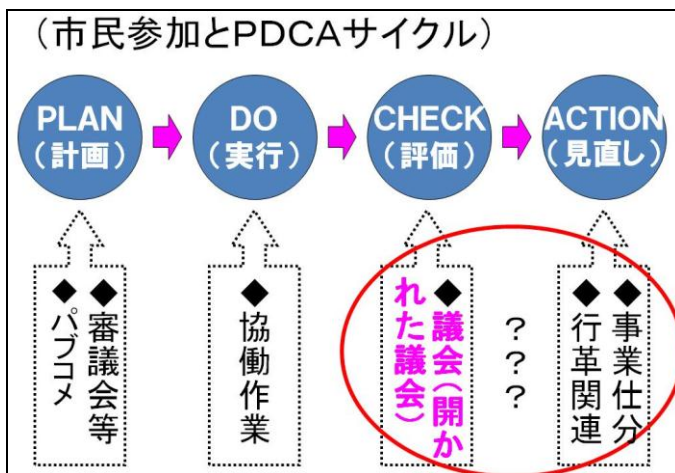
農業従事者の高齢化や後継ぎ問題、TPP問題など日本の農業が大転換期を迎えている中で、市内農業も将来ビジョンを描く必要に迫られています。その中で、先日の経験は大きなヒントを与えてくれたように思います。現場には多くのヒントがあります。

一般質問②

【多角的な市民参加の手法について】

私自身の感覚と、内外から聞く評価を合わせると流山市は市民の方による行政参加が非常に盛んな地域であると思います。この事は市政に携わる者として大変誇らしいものです。平成21年施行の自治基本条例でも“まちづくりの主役は市民”と謳われていることからしても、この流れは更に進むものと考えられます。

一方、日常活動の中で市民の方から「市政に参加するには具体的にどうしたらよいか？」と言った質問を頂きます。実際に「参加の手法」も様々なので、下図で解説します。



現在、盛んなのが実行段階での市民参加。福祉・環境・まちづくり等で市民と行政が協働して事業を行う事例です。また最近では先の体育館建替え事業や小中併設校新設事業に関して実施されたパブリックコメントやタウンミーティングに代表される計画段階での市民参加も充実してきています。

質問では現在は手薄な「評価・見直し」段階における市民参加の充実という点から(仮称)市政一改善提案事業の可能性を提案しました。これは既に行われている制度や事業を改善し、より効果的な制度などに改善(変更)することを提案して頂くものです。市長や担当部長からも積極的な答弁があり、更なる市民参加を拡充させるため、その実現に向け働きかけていきたいと思ひます。

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

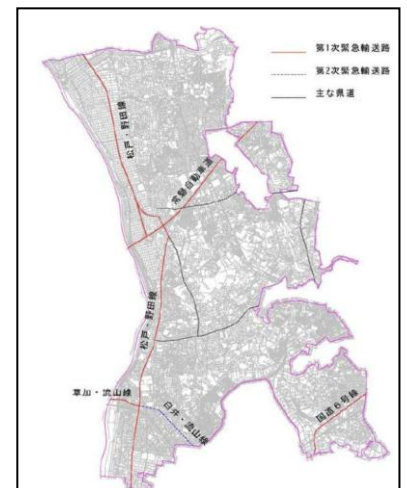
一般質問③

【災害時の導線確保に向けた対策を】

現在、市政課題の一つに総合体育館の建て替え事業がありますが、その大きな理由は耐震基準を満たしていないことがあります。これに代表されるように市内各所にある公共施設は建設から30年以上経過しており、順次耐震化や建替えを行い、その対策に取り組んでいます。一方、民間の建物に関しても耐震化を促進するための法制度や補助金制度が確立されていますが、利用実績は限られています。

その中で私が注視しているのが、大規模災害時に被災者搬送や支援物資の輸送にとって生命線となる緊急輸送路の確保です。そのため輸送路沿道の民間建築物の倒壊による道路遮断は懸念材料でもあり、耐震化を推進すべきとの質問でした。

少し見にくいかもしれませんが、右図は市内緊急輸送路(計6路線)を示す地図です。この道路が断たれると2・3次災害が高まる可能性があります。対象物件は9件との答弁



でしたが、市民の安心安全を守るという点からしますと、この問題に関しての対策は行政も応分の責任を持つ範疇とも感じられます。国も対策に乗り出したようですので、国・県・市による今後の動向を注視していきたいと思ひます。

一般質問④

【新設道路の安全対策を】

過去にも3度質問をしてきたおおかたの森駅から西初石・江戸川台を經由し、東深井に通じる道路に関する安全対策です。警察へ要望をしているとのことですが、信号設置や速度規制などの改善は現在のところ見受けられません。

【連絡先】 TEL & FAX: 7155-3236
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp